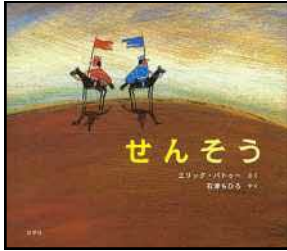


# とっておき!



『せんそう』

さく/エリック・バトゥー  
やく/石津ちひろ

5さい

好学社

E/A

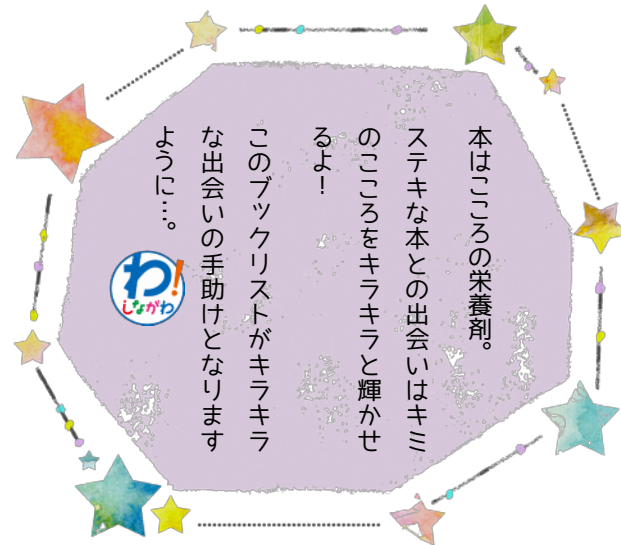
あるところに、赤いしろと青いしろが並んでたっていました。ふたりのおしろの王さまはとても仲がよく、住んでいるみんなもとても仲よしでした。

ところが、ささいなことでふたりの王さまがけんかをし、せんそうがはじまってしまったのです。おたがいに攻撃を開始しましたが、なかなか相手のおしろの壁を壊すことができません。

兵士たちは、死んでいった兵士たちのことを思い、悲しみました。そして、ふたりの王さまにせんそうをやめさせるための名案を思いつきます。しかし、この案でせんそうが終ることはありませんでした。

最後に、兵士たちは、ふたりの王さまにあるものをわたしました。その結果、ふたりの王さまはようやくせんそうをやめて…。

エリック・バトゥーが戦争の愚かさと悲しさを訴えた絵本です。



図書館おすすめブックリスト



キラ  
キミのこころに☆めきを☆

乳幼児



『こんにちは あした』

詩/内田麟太郎

E/U

絵/南塚直子

小峰書店

3さい

あしたのために、きょうをしっかりと生きていこう。数多くの絵本を世に出しつづけている絵本作家、内田麟太郎さんの心にひびく詩が、まるごと絵本になりました。共感した南塚直子さんの銅版画の挿絵です。

ちょっとつらいことがあっても、あしたのためにがんばろう。元気が出る絵本です。

2023年夏号

編集・発行：五反田図書館

0さい～

『バスにのって』

元/かしわらあきお ぶん/たにぞう  
河出書房新社

0さい～

SE/タ

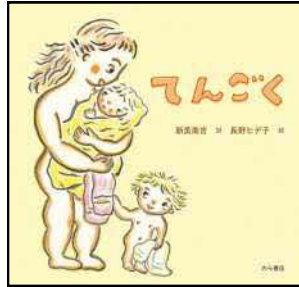


バスにのってでかけます。みぎにまがってひだりにまがって、でこぼこみちではガタガタとゆられます。さかのぼっておりて、とうちゃくした先にはいったい何があるのかな？ 歌いながら楽しめる絵本です。

『てんごく』

詩/新美南吉 絵/長野ヒデ子  
のら書店

E/ニ



いまから100年ほど前、日本が戦争へ向かっていたとき、絵本作家の新美南吉さんが、お母さんの背中のあたたかさについての詩を書きました。その詩から生まれた絵本がこちらです。

おとなにおんぶしてもらうと、その人のあたたかさが伝わります。ぜひ子どもとふれあいながら読みたいです。

5さい～

『どうしてこわいの？』

文/アツ・ヒコサキ 絵/ア・セシル  
訳/星野由美 偕成社

E/ヒ



かみなりのあと、停電で家の中が真っ暗になりました。マックスは「おとうさん、こわいとおもったことある？」と聞きます。おとうさんは、さまざまな「こわい」話について語ってくれました。そして最後に、マックスに希望を与えられるひとことを残してくれました。いったいどんな言葉だったのでしょうか。

『かささして』

さく・元/三浦太郎  
童心社

1さい～

SE/ミ



雨がふってきました。こなすの子は、ぱっとかさをさしてかえます。

かぼちゃのかあさん、もものねえさん、おくらのきょうだい、トマトのおうさんはプチトマトのこどもたちといっしょです。雨の日にぜひ手に取ってみたい一冊です。

『プールにいこう！』

作・文・イラスト/みうらとも  
国土社

E/ミ



さあプールに行こう！ ゴーグルに水着、キャップとタオルをもって、さっそくプールに行ってみると…。今日はプールがぎゅうぎゅうで入れない。次の日、またプールに行ってみると、なんとさかなつりの日だった。また次の日は…？ いったいいつになったらプールに入れるんだろう？

『あまがえるのたんじょう』

作/たてのひろし 絵/かわしまはるこ  
世界文化社

E/タ



こちらは、とてもうつくしい絵が印象的な人気のあまがえるシリーズの第3弾です。ある夜の水辺で、あまがえるがたまごを生みました。たまごがゆっくりとおたまじゃくしとなり、赤ちゃんがえるへと成長していきます。かえるの様子がとてもわかりやすく、しかもきれいにえがかれています。

『きのぼりくまくん』

作/よねづゆうすけ  
講談社

2さい～

SE/ヨ



木のぼりがだいすきなくまくん。めずらしい木をみつけてのぼってみたら、なんとフラミンゴの足でした。つぎに見つけたふしぎな木、のぼってみたらいったい何かな？

つぎつぎとあらわれるめずらしい木、子どもに声をかけながら読んであげましょう。

『あめがふってきたよ』

文/マリ・サーワ 絵/ケイ・ナリス  
訳/木坂 涼 徳間書店

E/サ



あめがふってきました。みちにぼつんぱらん、やねのうえにととんとん、いけにちゃばちゃば、くるまがはしると、しゃっ、しゃっ、じゃばっ…。

あめがふってきたとき、耳をすませば聞こえてくるさまざまな音を楽しみましょう。

『こねこの はなしではない おはなし』

作/アト・ルト・セウ 絵/カツ・エス 訳/石津ちひろ  
Gakken

E/ト



ニューヨーク近郊で起きた実話を基にしたといわれる絵本です。こねこを助けようと集まったみんなが力を合わせたことで、こねこを救うことができました。

動物を助けることによって、助け合いの精神が生まれたコミュニティのお話は、温かい気持ちで満たしてくれるはずです。動物を愛するすべての人にぜひ読んでもらいたい一冊です。